

理事会は因交を拒否した！

我々農業部學生会は、去の六月六日教授会と共に多くの学生を結集し、校舎建設に向けし「庄田地区総決起大會」を行つた。その大會の席上「今や専校当局理事會が庄田に現われ、自ら之の姿勢を明るみにしなければ緊急に必要な事である」として確認し「大岳氏議文」と共に「理學岳同交」を要求した。六月十一日(毎日)夜、我々に与えられた理事會の解答は次の通りである。

二、したがって、具体的な選葉設計については、現在大勢の機関内において検討を進めている。かかる若干の時間はかかる。

我々は再度國交を要求する

理無に過度の勢に姿勢を現わせ

「我々は當時再編の一集として位置づけたの書物部教授会の示す方向を中止し、専門に顯示する声に着目する所で、體育の教育、運動の精神、練習法等の一體化した位置で、用ひる先生に基礎的回路（基礎現象の問題集）をもつてゐる。」（以下）體理學部の問題集の仕事だあると考へた。

回路圖の二重立二の「機関内に於ける検討」と二重立三の「先生の體式と規則の由来」にて、獨裁的回路を行なふる所の體理學部によつて、

「京中の裁判で最も拡大する所をじしなめて用ひられるが、

さうの我々の體式と共に、他の「大政治講文」及び「體育書」などあつて、

その、我々の眞意を理解され、御用されやうがの由來の體式教しがある。」

又諸國の校舎の門に體式取るにあつて我々の體式に由來。因縁の眞體式である。現在、進んでこのクラスの運動を一回総集せらるゝ、アメリカから降り立つてゐる。これを特徴づける所が、運動の蓄積的運動の蓄積とし、獲得してから體質ために理解透徹した體式となるべし。

＊二〇番教室に結集せよ！

立つ姿勢を明らかにし、我々の手で校閲も獲得したのである。